

生物多様性について考えよう

町内の環境を守るために、毎月1日号に環境に関する記事を掲載します。

東浦町 環境かわら版

「東浦町の環境を守る基本計画」の改定を行っています。

はぜぼん

●問い合わせ 環境課 内線 282

平成22年に、愛知県で「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」という国際会議が開催され、「愛知目標」が合意されました。これ以降、県では生物多様性を保全する様々な取組みが行われており、町の環境に関する取組みでも大切な柱になっています。今月は「生物多様性」について考えてみましょう。

生物多様性とは

生きものたちの豊かな個性とつながりのことです。地球上の生きものは40億年という長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化し、3,000万種ともいわれる多様な生きものが生まれました。これらの生命には1つひとつに個性があり、すべてが支えあって生きています。



なぜ必要!?

■生活の基礎を支える

生きるうえで欠かせない水、野菜や魚などの食糧のほかにも、私たちの生活では生物の恩恵を受けています。例えば、本などの紙製品は木からできていたり、シャンプーや化粧品も植物が原料になっていたりします。また、生きものの形や特徴を参考にして、ものづくりが行われ、技術の進歩にもつながっています。

■文化の多様性を支える

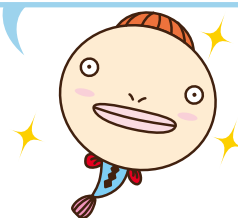
海に囲まれ、南北に長い国土と四季の変化に富む日本では、地域ごとに異なる自然と一体になって地域色豊かな伝統文化が育まれてきました。

■自然に守られる私たちの暮らしを支える

豊かな森林や河川の保全は安全な水の確保や、山地災害の軽減、土壌流出防止など、私たちが安心して暮らせる環境の確保につながります。

引用：環境省生物多様性ウェブサイト

環境省のホームページに詳しくのってるよ！



生物多様性に迫る危機

日本の生物多様性は、4つの危機にさらされています。人間活動による影響が主な要因で、たくさんの生きものたちが危機に瀕しています。

- ①開発や乱獲による種の減少・絶滅、生息・生育地の減少
- ②里地里山などの手入れ不足による自然の質の低下
- ③外来種などの持ち込みによる生態系のかく乱
- ④地球環境の変化、地球温暖化による危機

環境基本計画での町の取り組み

①希少種などの保全

- ・絶滅危惧種であるオニバスの保護活動を於大公園などで行っています。
- ・事業者や大学などの団体と協力して、ホンダギツネの保護活動を行っています。



※平成30年度に東浦自然環境学習の森で撮影

②里地里山などの保全

- ・東浦自然環境学習の森では、住民と事業者と協働して竹の伐採や水辺の管理、樹木の間伐など里地里山の保全活動を実施しています。
- ・公共施設では、植栽や花壇の整備などにより緑や花を増やす活動を行っています。



③外来種対策

特定外来生物について、広報や町ホームページで見つけたときの対処方法などを啓発しています。

④地球温暖化対策

省エネルギー対策を支援するため、住宅用地球温暖化対策機器を設置する方に対し、補助を行っています。

SDGsの達成

生物多様性の保全は SDGs にもつながります



生物多様性を守るために私たちができること

1人ひとりが生物多様性との関わりを、日常の暮らしの中で実感しながら生活しましょう。

①環境にやさしい行動をしよう

- ・物を買う時は、エコラベル商品の購入を心がけよう。
- ・地域でとれたものや旬のものを食べよう。



②自然環境(生物多様性)への理解を深めよう

- ・自然観察会などの保全活動を行っているイベントに参加してみよう。
- ・身近な公園や里山などへ出かけ、四季の移ろいを感じてみよう。



③生態系を守ろう

- ・外来種を移動させない、放たないようにしよう。
- ・ごみのポイ捨てをやめよう。



身近なところから行動することが、生物多様性を守るための第一歩！

東浦町
環境基本計画
実施計画

